

音楽文化研究専攻 吹奏楽研究領域

吹奏楽は多様な表現の可能性を持つ音楽の一形態であると同時に、様々な形で社会との関わり方を持つものでもあります。吹奏楽研究領域では、学生一人ひとりがそれぞれ演奏法・指導法・歴史・社会との関わり・作編曲法など多種多様な選択肢から研究テーマを定め、それに応じた選択必修科目を履修し研究を行います。テーマによっては個人レッスン形式で専門楽器実技や作編曲の研鑽を積むことができます。また、どの研究テーマにおいても自身が演奏者として合奏に参加することも必修となっており、常に現場的な視点に対する考察が可能となっています。

学位審査としては、どんな研究テーマにおいても修士論文の執筆が必須となります。そのためのゼミにおいては、学生同士が様々な角度から吹奏楽について学び合うことにより、広範な見識を修得することになります。ほか、研究テーマによっては修士論文に加え、修士演奏の実施または修士作品の提出が必要となります。